

**【第二回検討会】** 日時：平成29年9月1日（金）  
午後3時00分～午後5時10分

第二回は、オブザーバーとして、若菜千穂さん（いわて地域づくり支援センター常務理事）、小野寺浩樹さん（いちのせき市民活動支援センターセンター長）を迎え、人口減少や高齢化に対応した地域づくりを進める他市町村の事例を紹介いただきました。

小野寺さんからは、時代や社会環境の変化が激しい中で、「市民、企業、行政がお互いの立場を尊重し、公共的・公益的な活動を継続的な話し合いにより合意し、協力して行動すること」を一関市では大切にしている。今後ますます高齢化が進む時代において、より早い段階で負担を減らし、自治会以外の様々な組織や、幅広い年代の住民の参加による負担のない暮らしを維持できる地域づくりを考える必要があるとお話いただきました。

委員からは、「10年後に地域の中心になる若い世代をどう巻き込んだらよいか悩んでいる。」「人口が減りネットワークが減ることとで、自治会活動も農業分野も同様に負担が増えている。若い世代が地域の将来を話し合う環境がないことに危機感を持っている」という感想がありました。



いちのせき市民活動支援センターの小野寺浩樹センター長



委員の他、各地区生涯教育センター所長、地域づくり支援員も参加